

## 商業印刷向けプロダクションプリンター“imagePRESS V900/V800”を発売 機器調整の省力化とリモート管理によるダウンタイムの削減で業務効率化に貢献

キヤノンは、商業印刷向けカラープロダクションプリンター「imagePRESS（イメージプレス）」シリーズの新製品として、“imagePRESS V900/V800”を 2022 年 12 月中旬に発売します。



imagePRESS V900（左：最小構成時、右：オプション装着時）

顧客ニーズの多様化に伴い、印刷物の種類が拡大する商業印刷の現場では、作業量が増加、複雑化し、少人数の印刷業者や個人印刷事業主においても対応できるような省力化が求められています。新製品は、高度なスキルがなくても印刷前の機器調整が簡単に実施でき、オペレーターの作業負担を軽減します。さらに、コンパクトな本体サイズでありながら毎分 90 枚<sup>※1</sup>（A4 ヨコ）の印刷速度と幅広い用紙対応力を備えており、リモート印刷管理アプリと組み合わせることで、印刷業などのお客様の業務効率化とビジネス拡大を支援します。

### 1. コンパクト設計でありながら、オプションユニットの拡張性と幅広い用紙対応力で多様な印刷が可能

「imagePRESS V シリーズ」最小となる本体は、最小構成時には従来機種<sup>※2</sup>より設置面積を約 37%削減<sup>※3</sup>し、設置場所の自由度を高めました。長尺紙をはじめとするさまざまな用紙を格納できる給紙ユニットや、中綴じ製本が可能なフィニッシャーなど、オプションユニットを追加すれば機能を拡張することもできます。また、52g/m<sup>2</sup>から 350g/m<sup>2</sup>の厚さの用紙に対応<sup>※4</sup>し、折込チラシなどの薄紙から、グリーティングカードなどの厚紙まで印刷可能です。封筒印刷では、ダイレクトメールなどの送付に使用される長形 4 号サイズにも新たに対応し、本製品 1 台で多様な印刷ニーズに応えます。

### 2. 印刷前の機器調整作業の省力化により、オペレーターの負担軽減と拘束時間短縮を実現

自動原稿送り装置（ADF）に調整チャートをセットしスキャンするだけで、印刷前の印字位置合わせや色合わせ調整が可能です。圧板の開閉など、従来の手作業による煩雑な調整が不要なため、作業ミスの低減と作業時間の短縮につながります。また、これまで上位機種<sup>※5</sup>でしか採用されていなかったオプションのインライン分光センサーを使用することで、高い色再現性が求められる商品カタログなどを印刷する際も、高精度な色調整がボタン操作一つで実施できます。

### 3. リモート印刷管理アプリで印刷状況を可視化し、ダウンタイムを削減

多種多様な印刷への対応で、用紙交換や印刷ジョブの切替え頻度が高い場合には、リモート印刷管理アプリ「PRISMAremote Manager」<sup>※6</sup>を活用することで、印刷機から離れた場所でも用紙の補充タイミングや稼働状況の把握が可能です。印刷機が止まる前に必要な準備をすることでダウンタイムを削減できます。

※1. “imagePRESS V900”のみ。“imagePRESS V800”は毎分 80 枚。

※2. 「imagePRESS C910」（2019 年 5 月発売）

※3. 最小構成時は「純正 PS モデル / imagePRESS Server モデル」。「コピーレイ・R2」を開いた状態で幅 1,327mm、奥行 872mm。

※4. 本体給紙カセットでセットできる用紙は 300g/m<sup>2</sup>まで。350g/m<sup>2</sup>までセットするには、「手差し給紙ユニット・D1」か「多段デッキ・E1」（別売り）が必要です。

※5. 「imagePRESS V1000」（2022 年 6 月発売）および「imagePRESS V1350」（2022 年 12 月中旬発売予定）

※6. 「PRISMAsync モデル」搭載機能。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
imagePRESS V900	935 万円	2022 年 12 月中旬
imagePRESS V800	785 万円	

\* 本価格は、コントローラー、排紙オプションを含みません。

- 
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0053
  - imagePRESS ホームページ : [canon.jp/imagepress](https://canon.jp/imagepress)

## 〈主な特長〉

### 1. コンパクト設計でありながら、オプションユニットの拡張性と幅広い用紙対応力で多様な印刷が可能

- 「imagePRESS V シリーズ」最小となる本体は、最小構成時には従来機種より設置面積を約 37%削減し、設置場所の自由度を向上。
- 長尺紙をはじめとするさまざまな用紙を格納する給紙ユニットや、中綴じ製本が可能なフィニッシャー※1などを追加すれば、機能を拡張することも可能。用途に合わせた構成で、多様な印刷ニーズに対応。
- 搬送ローラーを追加することで、薄口コート紙および厚紙の安定的な搬送を実現。52g/m<sup>2</sup>から 350g/m<sup>2</sup>の厚さの用紙に対応し、折込チラシからグリーティングカードまで幅広い印刷が可能。
- 搬送ローラーのサポート幅を強化し、封筒印刷では、90mm と幅の狭い長形 4 号サイズに新たに対応。グリーティングカードと封筒セットでの印刷も本製品 1 台で対応可能。



ローラー間の距離を近づけ用紙搬送力を強化



多種多様な成果物（イメージ）

※1. 給紙ユニット「POD デッキライト XL・A2」、フィニッシャー「中綴じフィニッシャー・AG1」（ともに別売り）。

### 2. 印刷前の機器調整作業の省力化により、オペレーターの負荷軽減と拘束時間短縮を実現

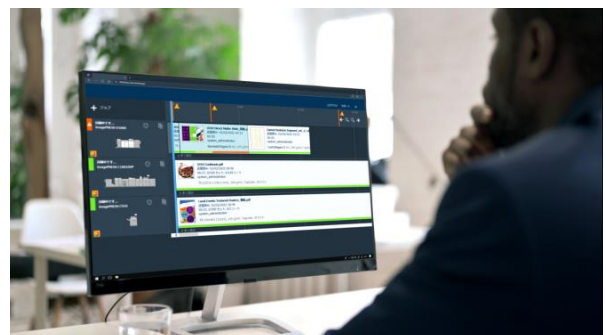
- 自動原稿送り装置（ADF）に調整チャートをセットしスキャンするだけで、印刷前の印字位置合わせや色合わせ調整が可能。圧板の開閉や測色器を用いた調整など、従来の煩雑な手作業が不要になり、作業ミスの低減と作業時間の短縮に貢献。
- これまで上位機種でしか採用されていなかったオプションのインライン分光センサーを使用すれば、高い色再現性が求められる商品カタログなどを印刷する際も、高精度な色調整がボタン 1 つで実施可能。



ADF でのチャートスキャンによる調整

### 3. リモート印刷管理アプリで印刷状況を可視化し、ダウンタイムを削減

- リモート印刷管理アプリ「PRISMAremote Manager」を活用することで、PC 上でもプリンターのステータスを確認。印刷機から離れた場所でも用紙の補充タイミングや稼働状況を把握可能。
- リアルタイムに印刷状況を確認できるため、用紙切れなどのエラーを事前に防止。ダウンタイムを削減し、業務効率化を支援。



「PRISMAremote Manager」（使用イメージ）

### 〈主な製品仕様〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

#### imagePRESS V シリーズ ラインアップ

製品名	生産性 (A4 ヨコ)
imagePRESS V1350	毎分 135 枚
imagePRESS V1000	毎分 100 枚
imagePRESS V900/V800	毎分 90 枚/80 枚

### 〈カラープロダクションプリンターの市場動向〉

近年、ポスターやカタログなどのグラフィックアーツを取り扱う印刷業において、印刷物の少量多品種化や短納期化、オンデマンド印刷やバリアブル印刷への需要がますます高まっています。そのため、高い生産性や高画質、幅広い用紙への対応に加え、正確な画像位置合わせや色安定性などプロダクションプリンターに対する市場の要求はより高まっています。カラープロダクション市場向けカラープリンターの 2022 年の市場規模は世界市場で約 2 万台の規模になると予想しています。(キヤノン調べ)